

日本共産党 三鷹市議会議員



森 徹ホットライン

もり とおる

上連雀・井口・深大寺・野崎・大沢地域日本共産党後援会ニュース

連絡先 : 上連雀 5-28-10

電話・Fax : 46-6158

ホームページ

<http://www.mori-t.jp>

メール : info@mori-t.jp



森 徹市議、3月20日市教育委員会に 小中学校体育館の耐震の再調査を求めました。 — 学校体育館は災害時の重要な避難場所 —

森 市議は、東日本大震災の際の第三小学校体育館のモルタル落下事件を受けて、市教育委員会と学校体育館の耐震調査を求める話し合いをおこないました。

これは、子どもの命を守るということにとどまらず、防災に強いまちづくりにとって、欠かせないことだからです。テレビをみても、学校体育館が被災者の救難・避難場所であることが分かります。

東京においても、東海地震が起きる確率が高いとの警告がなされています。また、東京直下型地震の確率も高いともいわれています。

地震は起きてからでは、なにかも手遅れとなります。私たちのまちを防災に強い地域にするには、普段からの対策が欠かせません。

暮らしと福祉、
防災に強い三鷹市をつくりましょう

市教育委員会の返答

第三小学校と井口小学校の体育館は、10年前の耐震診断なので、再診断をおこないます。第二小学校の校舎は23年度から24年度にかけて耐震補強し、羽沢小学校の校舎は23年度、体育館は24年度に耐震補強します。



森市議は 26日 グルメシティ前、27日 サミット前で被災者救援募金に立ちました。

救援募金は、日本共産党中央委員会を通して、第一次分として被災地の福島県、宮城県、岩手県のそれぞれに1,000万円が届けられました。これから被災地の市・町・村に届けられます。

都知事選はじまる 新宿駅西口で第一声

小池あきら候補

「福祉・防災都市東京への転換を」と訴えました

第一声の要旨

●私が都知事になったら、泊り込んで救援・復興の先頭に立ちます。

被災者の受け入れや医師などの派遣、消防隊やハイパーレスキュー隊の活動を全力で応援します。

●原発事故—すべての浄水場、導水道や蛇口もポイントを決め、常時監視体制を直ちにとります。

原発事故の被害が都民のなかに不安を広げています。金町浄水場で放射性物質が検出されました。乳児に危険性があると、子どもを抱える

家庭は不安でたまりません。子どものいる家庭や保育園に、都が備蓄しているペットボトルの配布をもっと大規模にすすめ、国のも対策を求めています。

●原子力行政を見直し、自然エネルギー都市東京をつくる第一歩を踏み出します。

あらゆる英知を結集して、原子力発電所の事故から国民の命を守ります。今こそ「安全新話」と決別し、安全最優先で原子力行政を見直します。

都民を守る医療・介護・福祉を充実させることは、

災害に強い都市をつくることにもなります。

- 特別養護老人ホーム、グループホームを増設します。
- 待機児ゼロをめざし、認可保育所を増設します。
- 国民健康保険料（税）を一万円引き下げます。
- 18歳までと75歳以上の医療費を無料化します。
- 30人学級で、ゆきとどいた教育を実現します。
- 住宅リフォーム助成制度を創設します。

石原都政の巨額なムダをなくして、

暮らしと福祉・防災にまわします

- 超高層ビルや大型道路の建設の年間1兆円のムダ使いをやめさせます。
- 新銀行東京では1,000億円の大半を損失。豪華海外出張も、この4年間で2億2,000万円と止まっています。こうしたムダを一切なくします。